

大阪産業大学 研究シーズシート

研究シーズ テーマ	「文化」はどのように文法教育の中に隠されているのか -日本の中国語教材における「隠れた文化カリキュラム」に関する研究 -			
分 野	中国語教育			
キーワード	中国語教材、文法教育、文化教育、隠れたカリキュラム、異文化理解			
研究者名・職位	李佳・准教授			
所 属	国際学部 国際学科			
研究シーズ概要	近年、日本で出版される中国語教材には、単なる語学知識の教授を超え、「文化」を学習過程の中に自然に埋め込む傾向が見られる。本研究では、2025～2026 年度に出版・使用されている中国語教材を対象とし、教材目次・課題設定・文法項目・コラム構成を分析することで、中国文化がどのように「隠れたカリキュラム」として機能しているのかを明らかにすることを目的とする。特に、「把構文」「補語」「方向補語」などの文法項目が、「デリバリーを頼む」「麻婆豆腐を作る」「中国歌曲を聴く」「故宮で写真を撮る」といった生活場面と結びついている点に注目する。これらは単なる文法練習ではなく、中国社会における行動様式、生活文化、価値観を学習者に体験させる役割を担っていると考えられる。従来の教材研究では、「文化」は主にコラムや補足説明として扱われてきたが、本研究は、文化が文法教育そのものの内部構造に組み込まれていることを示し、日本における中国語教育の新たな方向性を提示することを目指す。			
進捗状況	着想・構想段階 基礎研究段階 実証段階			
連携研究の 範囲・方法	本研究では、日本国内で近年採用率の高い中国語教材を対象に、教材目次および文法配置の比較分析を行う。また、教材執筆者・中国語教員への聞き取り調査を通して、「文化」と「文法」をどのように結びつけて設計しているのかを検証する。さらに、実際に教材を使用している大学授業を観察し、学習者がどのように中国文化を受容しているのかを分析する予定である。今後は、中国語教育機関・出版社・教育現場との連携を進めることで、教材設計と異文化理解教育との関連性を多角的に検証することを視野に入れている。			
用途・効果 ・市場	本研究によって、中国語教材における「文化埋め込み型文法教育」の特徴が明らかになることで、日本における中国語教育の教材開発に新たな視点を提供することが期待される。特に、従来の「文法中心型教材」から、「行動・文化体験型教材」への転換可能性を示す点に大きな意義がある。また、本研究成果は、中国語教育だけでなく、日本語教育や他の外国語教育における教材設計にも応用可能であり、異文化理解能力を育成する教育モデルとしての展開が期待できる。さらに、グローバル化が進む日本社会において、言語教育を通じた異文化共生教育の促進にも寄与することが考えられる。			
研究者の業績等	◆ https://researchmap.jp/1822			

連絡先	大阪産業大学 社会連携・研究推進センター 産業研究所事務室 TEL : 072-875-3001 (内線 2816・2809) FAX : 072-875-6551 E-mail : sangaku@cnt.osaka-sandai.ac.jp
-----	--